

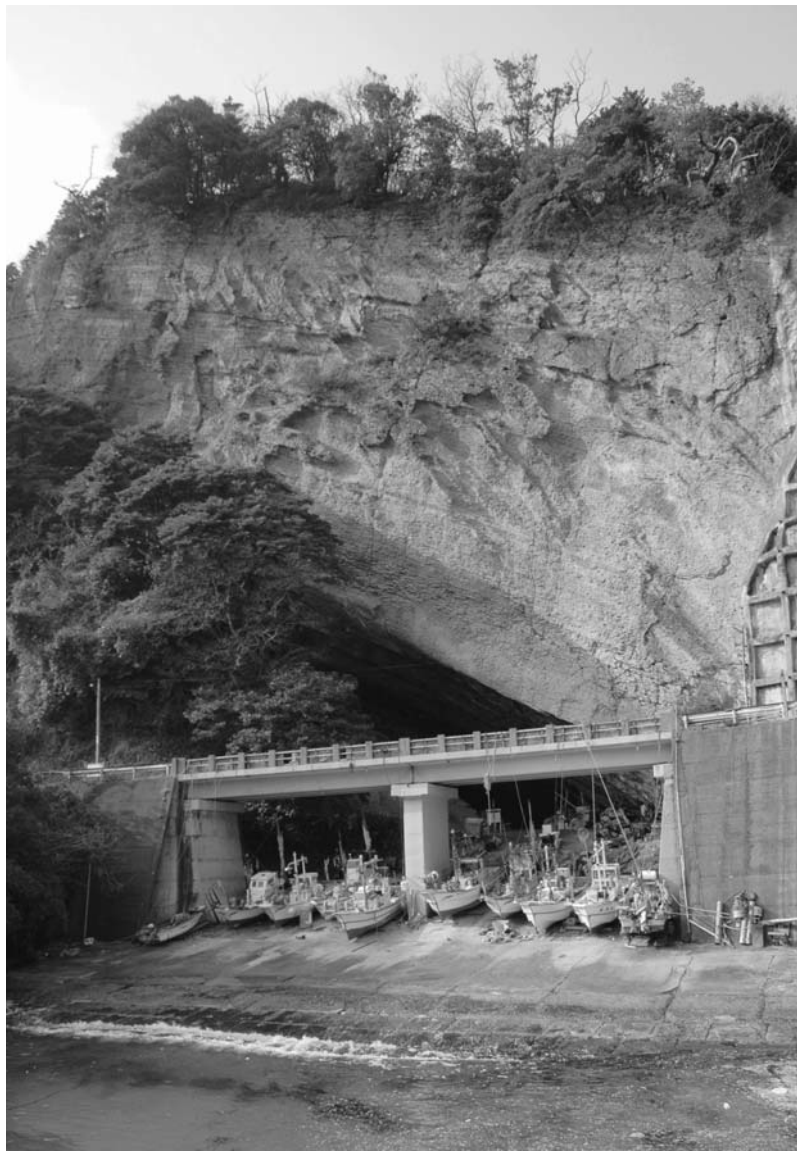
訪ねてガッテン!! 出雲の歴史



国指定史跡

いのめ どうくつ いぶつほうがんそう 昭和32年
vol.4 猪目洞窟遺物包含層 (1957)指定

もっと知ってほしい、私たちの暮らす出雲の歴史。隔月で連載する「訪ねてガッテン!!出雲の歴史」のコーナーでは、市内の遺跡などを巡り、古代ロマンあふれる出雲の魅力を紹介しています。第4回目は、国指定史跡 猪目洞窟遺物包含層です。



猪目町にあるこの洞窟遺跡は、今年、発見60年を迎えます。

洞窟は、猪目海水浴場の西側にあり、高さ約30mの断崖絶壁の裾に、海側の東を向いて開口しています。

洞窟の大きさは、入口部で幅30m、高さ10m、奥行き30m以上あります。洞窟の前面には恵美須橋がかかり、洞窟内の一部は漁船置き場として利用されています。

この洞窟遺跡は、おもに、弥生時代以降、古墳時代後期まで(2300~1400年前)の間、ある時期は生活の場として、また、ある時期は埋葬の場として使用されていました。

注目される出土品は、13体も見つかった弥生時代や古墳時代の人骨です。なかでも、弥生人骨の1体にはめられていた腕輪は、南方の海にしか生息しないゴホウラ貝で作られたもので、当時の九州・沖縄方面との交流がしのべられます。

これらの出土品から、この洞窟遺跡は奈良時代(天平5年(733))につくられた『出雲国風土記』の出雲郡宇賀郷に記述されている黄泉之坂、黄泉之穴と考えられるようになりました。

黄泉(よみ)とは、「死後、魂が行くという所。死者が住むと信じられた国。(広辞苑第5版)」のことですが、そうすると、この洞窟があつた世につながる坂や入口となりそうです。

奈良時代の人々が神秘的な言い伝えを残した場所を、一度、確かめに訪れてみてください。

広報いずも 第78号

毎月第2・4木曜日発行
(発行日を一部変更する月があります)

発行日:平成20年(2008)6月12日
発行:出雲市

編集:広報情報課
〒693-8530 出雲市今市町109-1
TEL(0853)21-8578・FAX(0853)21-6509
Mail:kouhou@city.izumo.shimane.jp
出雲市のホームページ
<http://www.city.izumo.shimane.jp/>

市政や広報へのご意見・ご質問は
広報情報課または各支所の地域振興課へ

平田支所 TEL63-3111 湖陵支所 TEL43-1212
佐田支所 TEL84-0111 大社支所 TEL53-4444
多伎支所 TEL86-3111

市県民税第1期
介護保険料第2期の納期は
6月16日(月)~
6月30日(月)です。

期限までに忘れず納めましょう
●市民税課(TEL21-6703)●